

Y03b アストロバイオロジーを伝える学際的な広報普及

日下部展彦（アストロバイオロジーセンター）

アストロバイオロジーセンター（ABC）は、太陽系外惑星分野の著しい進展に伴い、宇宙における生命の可能性を探るため、2015年に自然科学研究機構内に設置された、機構直轄の新しいセンターである。ABCが発足して4年目となり、天文分野だけでなく、生物分野の研究者も増えつつあり、アストロバイオロジーとしての学際的研究をするための体制が整いつつある。一方で、「宇宙における生命」という題材は、社会一般からの興味関心は高いものの、それを科学的に探求するアストロバイオロジーという研究分野がどのように研究されているかについては、ほとんど知られていない。興味関心の高い分野だからこそ、その研究の現場を伝えることはABCの広報にとって重要である。

これまで、シンポジウムや国立天文台特別公開、市民向けのイベント等を通して、アストロバイオロジーという学際的分野の広報普及活動を行ってきた。アストロバイオロジーの広報活動では、天文学と生物学の両方を扱うことも多い。しかし、系外惑星に興味はあるが光合成に興味がないなど、アストロバイオロジーという分野の興味関心の方向性は多岐にわたる。そのため、科学館などで講演をする際に、単純に天文学と生物学の話とを別々にするだけでは、アストロバイオロジーの広報普及としては効果的ではないと考えられる。

これまでに行ってきた活動を、「アストロバイオロジーにおける広報普及」として一度整理し、学際的分野の広報普及について俯瞰し、天文学からのアプローチだけに捕らわれない、新しい学際分野の広報普及の可能性について検討する。そして、天文学と生物学の有機的な繋がりを伝えられる手法などについて議論する。